

夏の  
お困りごと解決庭の  
雑草対策放っておくとあっと言う間に成長してしまう雑草、  
今回は自分でもできる雑草対策をご紹介します。

オーナー様からのご相談も多い雑草対策。雑草対策にはいろいろな方法がありますが、選択を間違えると「すぐ雑草が生えてきた」「庭が殺風景になってしまった」ということになりかねません。今回はホームセンターなどにあるものでできる対策をご紹介します。

## 雑草対策の種類とそれぞれのポイント

## 主な雑草対策の方法

方法	かかる手間	費用	プロに依頼した方が安心
草むしり	◎	○	
グランドカバープランツ	◎	◎	
固まる土	◎	◎	◎
防草シート& バークチップ・ウッドチップ	◎	◎	
防草シート&砂利	◎	◎	○
コンクリート	◎	◎	◎
タイル・レンガ	◎	◎	◎

## ▶ グランドカバープランツ

メリット	デメリット
庭の景観が良くなる	下準備が重要で省略すると、失敗しやすい
適切な管理をすれば 雑草対策としての効果は高い	定期的なお手入れが必要
地表温度の上昇を防ぐ効果がある	

グランドカバープランツは、雑草対策としても効果的。  
小径やステップの隙間、低木の株元などに最適です。

- グランドカバープランツは踏んでも平気な丈夫なものが多いので、石やレンガを敷いた小径や、ステップの隙間や花壇の縁取り、低木の株元などを彩るのにもぴったりです。
- 土の流出や乾燥を防止することもできます。芝生のように日頃から刈り込む必要もないので、初心者の方でも始めやすいです。
- グランドカバープランツは生育旺盛なものが多いので、広がってほしくない区画には入れないようにご注意ください。
- グランドカバープランツを植える場合、雑草の下処理は必ず行なってください。

## おすすめのグランドカバープランツ



タイム



プラティア



セダム



アジュガ

## 監修



西本敬子 グリーンフラワーコーディネーター

樹木医 / 1級造園施工管理士 / 造園1級技能士 /  
グリーンアドバイザー / (社)日本フラワーデザイナー  
協会講師 / トヨタ名古屋自動車大学校 特任講師

## ▶ 固まる土

メリット	デメリット
コンクリートに比べてコストが安い	仕上がりにムラが出ることがある
雑草抑制の効果が高い	強度が弱いので割れやすい
水たまりができてにくい	経年劣化により崩れやすくなる

固まる土は、そのまま撒いて綺麗にならしたら  
水をかけるだけでできる雑草対策です。

- 固まる土はホームセンターなどで販売されている手軽に入手できる材料で、そのまま撒いて綺麗にならしたら水をかけるだけのものが一般的ですが、厚みや水加減で仕上がりが変わります。
- いきなり全面にやっってしまうと失敗が多いので、まずは一部分だけで試してから施工することが大切です。
- 施工するタイミングは、晴れが3~5日続く日が最適です。土が固まる前に雨が降ってしまうと乾いた後見た目が悪くなります。
- ひび割れを少なく綺麗に仕上げるためには、必ず事前に小石を取り除いたり、除草をして地中の根まで枯らしてしまうことが大切です。



## ▶ 防草シート&amp;バークチップ・ウッドチップ

メリット	デメリット
庭の景観が良くなる	虫が寄ってきてしまう可能性がある
軽量なので運びやすい	効果を得るためには、正しい敷設が必要
適切に敷設すれば、効果が高い	

バークチップやウッドチップを敷くと、  
雑草対策だけでなくお庭の雰囲気が  
ガラッと変わります。

- バークチップは、樹皮を粉砕したもので、ウッドチップは木材を粉砕したものです。色味や形も違うので、敷くイメージや広さに合わせて使用してください。
- バークチップやウッドチップを敷くと、お庭の雰囲気が変わります。チップの下に防草シートを併用、敷設した方が効果が上がります。
- バークチップやウッドチップのかわりに砂利を敷く方法もあります。チップ同様砂利単体では効果が低いので防草シートとの組み合わせをおすすめします。
- 防草シートを敷く前には、必ず除草をしてください。地中に残っている根や種子も取り除いておきましょう。シートを敷いても、シートの隙間などから生えてくることがあります。

